

訓練参加住民アンケート集計結果

令和5年度 常陸太田市原子力災害広域避難訓練

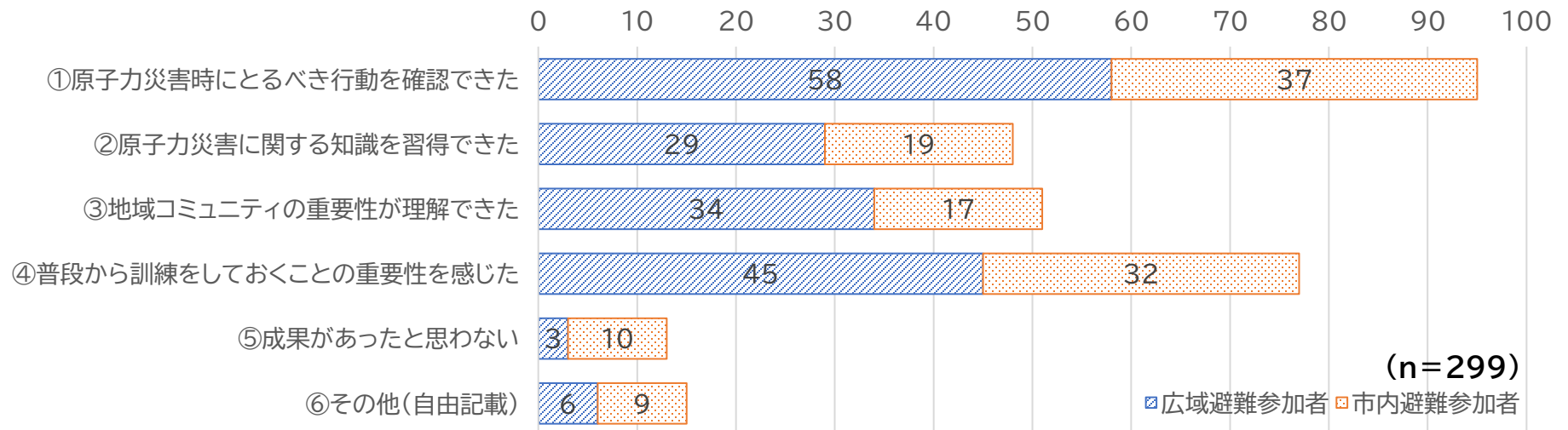
アンケート概要

本アンケートは令和5年度常陸太田市原子力防災広域避難訓練に参加した佐竹地区、久米地区、郡戸地区の市民を対象に実施した。
アンケート回収率は下記の通り。

	広域避難訓練参加者 (一時集合場所～福島県)	市内避難訓練参加者 (一時集合場所～避難退域時 検査場所)	回収率
佐竹地区	鏡石町行き：21名	20名	100%
久米地区	石川町行き：31名 玉川村行き：27名		100%
郡戸地区		38名	100%
計	79名	58名	137名

アンケート集計結果

1 今回の訓練ではどのような成果があったと思いますか。（訓練参加市民全員対象）



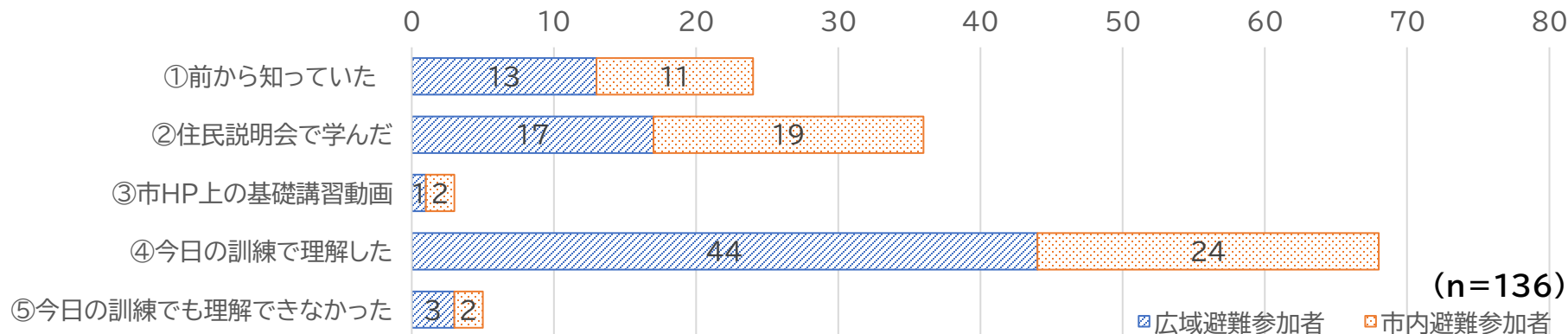
【自由記述】

- ・避難の流れが知れてよかった。
- ・原子力災害に対する知識を得ることができたが、普段から自宅を離れたくないと訴える高齢者の説得に不安を感じる。
- ・訓練に参加したので色々理解し、確認できたので良かったが、一般の方々はわからない人が多いと思う。
- ・目に見えぬ災害なだけに今回このような訓練に参加し、少しでも知識を得ることができた。
- ・避難をスムーズに行うためには、一時集合所での点呼の対応からさらなる改善や訓練が必要と思われる。避難者に対しても十分な予備知識が必要です。
- ・実際に事故が起これば（今回も疲れたが）とても疲れるし、残してくる家も心配だし、本当に大変なことだと思った。
- ・避難場所と施設の様子が確認できた。
- ・テレビなどで見てわかっていましたが、実際行動してよかったと思います。
- ・避難の流れを確認することができました。

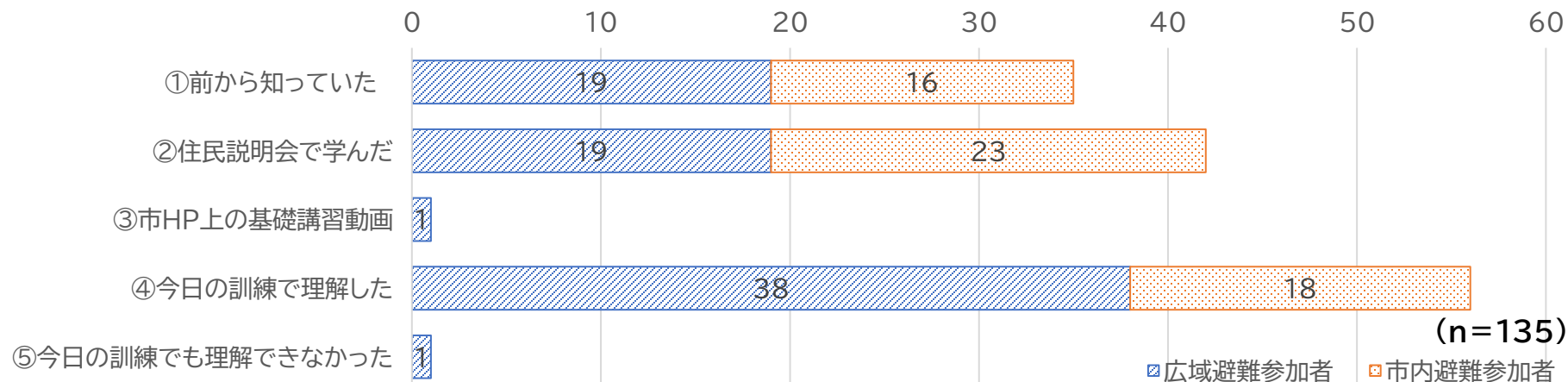
アンケート集計結果

4 原子力防災の知識について

(1) 原子力災害における避難の流れは事前に知っていましたか。(訓練参加市民全員対象)

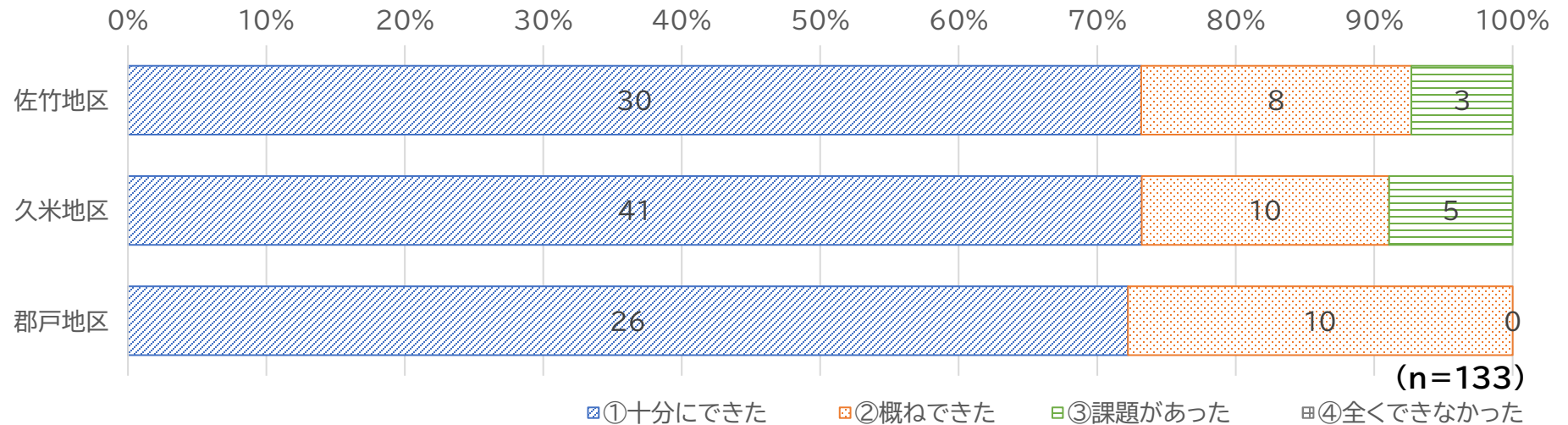


(2) 自分の「一時集合場所」及び「避難先市町村」は事前に知っていましたか。(訓練参加市民全員対象)



アンケート集計結果

5 一時集合所(峰山小学校、金砂郷小学校、旧郡戸小学校)について (1)一時集合場所までの避難はスムーズにできましたか(訓練参加市民全員対象)

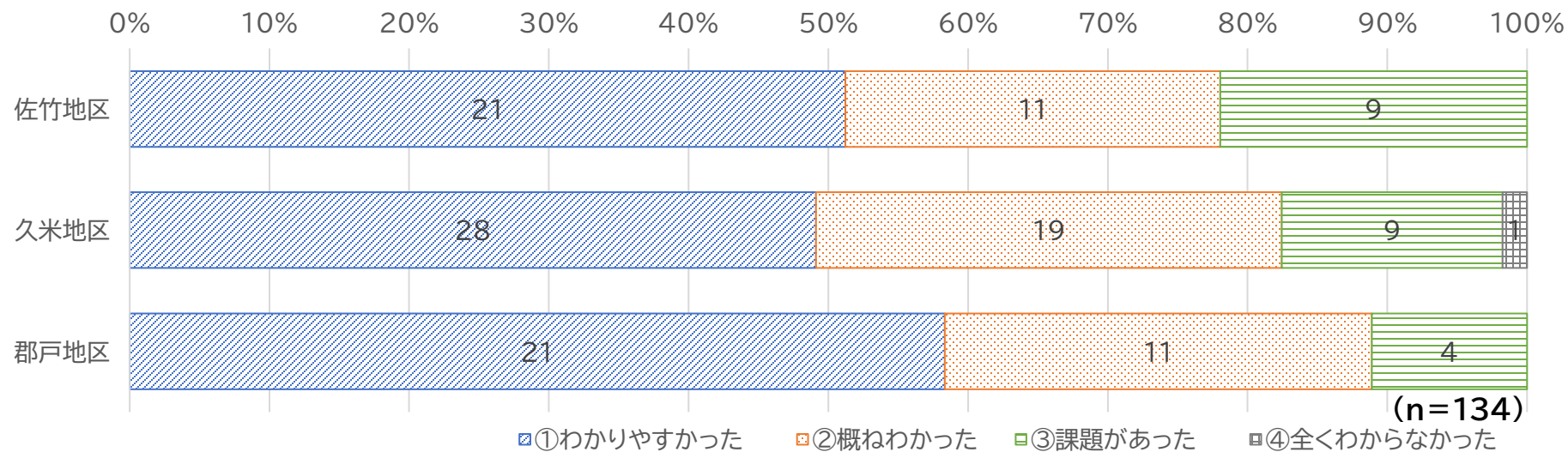


【自由記述】

- ・高齢者を一時集合所まで連れていくのにどのようにしたらよいか課題が残った。
- ・少ない人数の避難者だったので、道路が混んでいなかったため。
- ・地元の人ではないので場所がわからなかった。
- ・今回は訓練のため事前準備ができたが、実災害時は不安が残る。
- ・郡戸小は狭く、もっと広い場所があれば良いと思う。

アンケート集計結果

5 一時集合所(峰山小学校、金砂郷小学校、旧郡戸小学校)について (2)一時集合所での誘導はわかりやすかったですか(訓練参加市民全員対象)

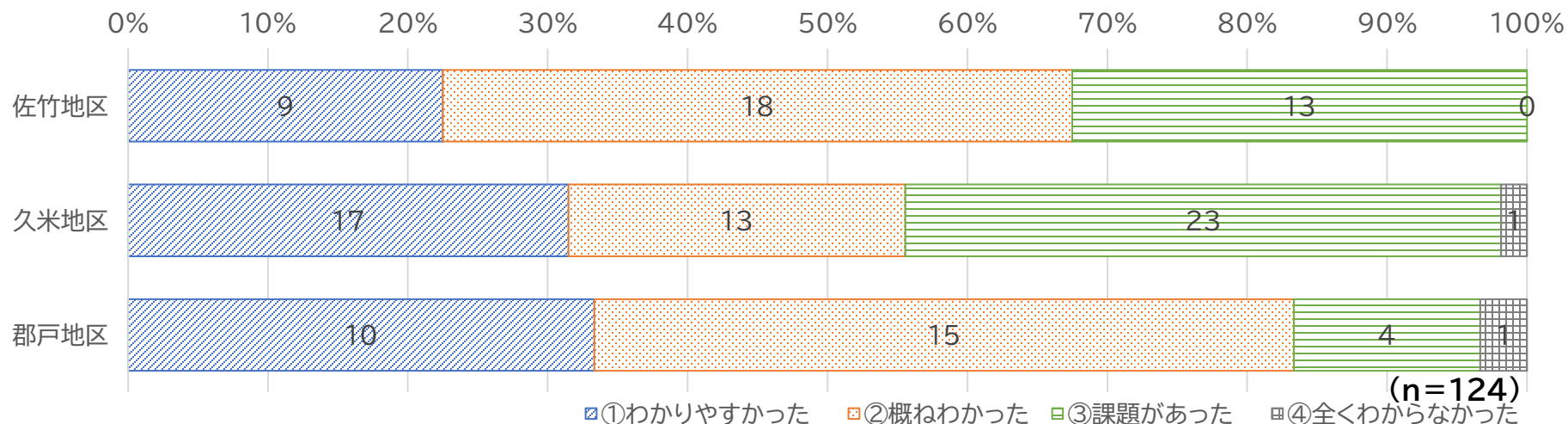


【自由記述】

- ・ 体育館の状況がわかっているので誘導される前に入っていたが、全町民が集まってきているのを考えると不安に思う。
- ・ ただ列に並んでいるだけだったので、受付でどのようなことを聞いていると言ってもらえたら、待つ時間が長く感じなかったし、不安にならなかつたと思う。
- ・ 受付までの整列時、簡単な説明（アナウンス）があってもよかった。
- ・ 指示があったがマスク越しなので聞こえなかった。誘導はもう少しスムーズにしてほしい。
- ・ ハンドマイク等の利用があれば良いのでは。
- ・ 誘導係をより明確化。一時集合所で確認する項目を明確にして告知すべき。全住民が一時集合所へ避難するとは限らないのでは。
- ・ 説明の誘導の係の人数が少ない。
- ・ 峰山小学校のグラウンドに誘導する職員が必要である。グラウンドに入るまでがわかりにくい。
- ・ 車の誘導はドライバーから見てわかりづらかつた。
- ・ 駐車場の立て札があつたほうがわかりやすかつた。

アンケート集計結果

5 一時集合所(峰山小学校、金砂郷小学校、旧郡戸小学校)について (3)一時集合所での受付手順はわかりやすいですか(訓練参加市民全員対象)



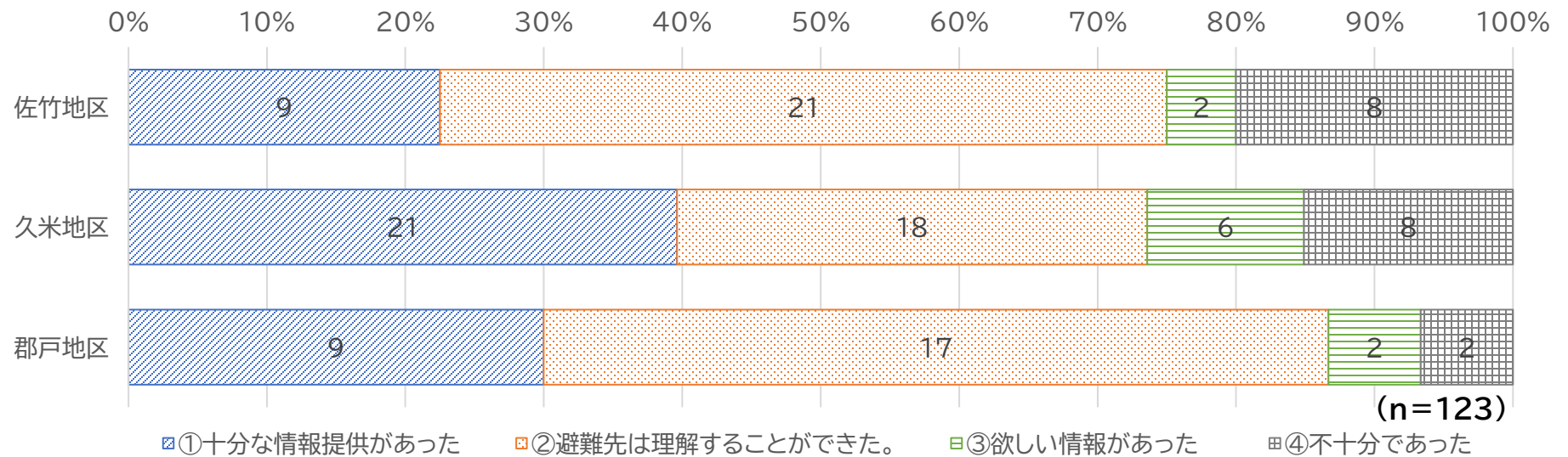
【自由記述】

- ・時間がかかりすぎ(ほか16件)
- ・スムーズな流れではなかった。(ほか8件)
- ・受付とヨウ素剤配布の受付で同様の受付記入(氏名・住所等)をしていた。同時にするべきと考える。(ほか4件)
- ・受付と安定ヨウ素剤説明を一本化し、効率的に対応する必要があった。(ほか2件)
- ・家族単位(世帯ごと)ですと、張り紙で知らせてくれると良かった。
- ・全住民の住所を氏名等、基本的な情報を事前にリスト化しておくなど簡易な方法がないか。(ほか1件)
- ・町内毎も名簿が用意してあって名簿に○をつけるだけだともっとスムーズに流れるのではないかと思います。
- ・受付の数を増やす。(ほか2件)
- ・氏名の記載など実筆記ではなくスキャン等でスピーディー化を図ることも重要と考えます。
- ・要支援者がいる場合の受付の説明がなかった。本日の参加者は高齢者も健常者がほとんどだったので、身体不自由者がいる場合の対応も知りたかった。
- ・説明する人の声が聞こえない。

アンケート集計結果

5 一時集合所(峰山小学校、金砂郷小学校、旧郡戸小学校)について

(4)一時集合所での市職員からの情報提供は十分でしたか？(訓練参加市民全員対象)



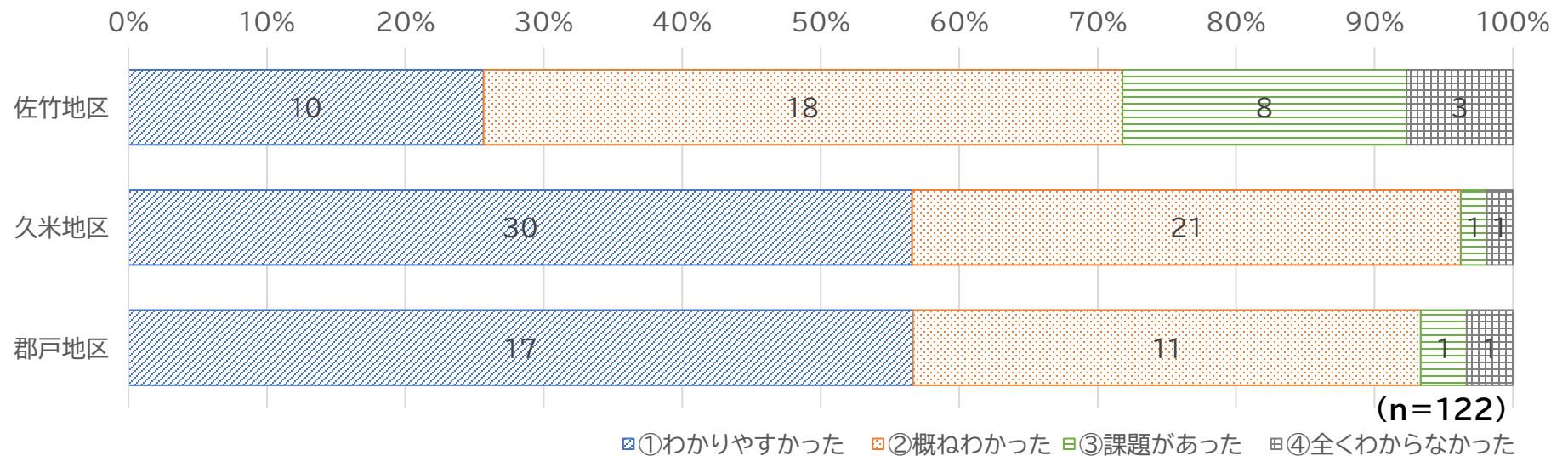
【自由記述】

- ・個人情報を記入するからには、なぜ必要なのかを最初に説明してほしい。
- ・今回は訓練だったが、次の行動への説明(移動の仕方等)など、はっきりと大きな声で行ってほしい。
- ・一時集合所では避難のタイムスケジュール・タイムラインをより密に告知すべき
- ・移動車両の具体的な説明や誘導について
- ・避難先の情報提供がなかった。
- ・簡易除染検査の受け方が不明であった。
- ・今回30分遅れで出発したが、その原因の説明が欲しかった。(ほか1件)
- ・事故の状態の説明が全くない。仮想であれ、ある程度の説明はあってもよい。
- ・高齢者が多いのに声が小さく情報が聞こえなかった。(ほか4件)
- ・正確な情報発信をするためマイクの使用を心がけると良いと考えます。(ほか1件)
- ・発災時の対応を考えると多くの職員等の配置が必要と考えます。

アンケート集計結果

6 安定ヨウ素剤の説明・服用について

(1)安定ヨウ素剤の説明はわかりやすかったですか(訓練参加市民全員対象)



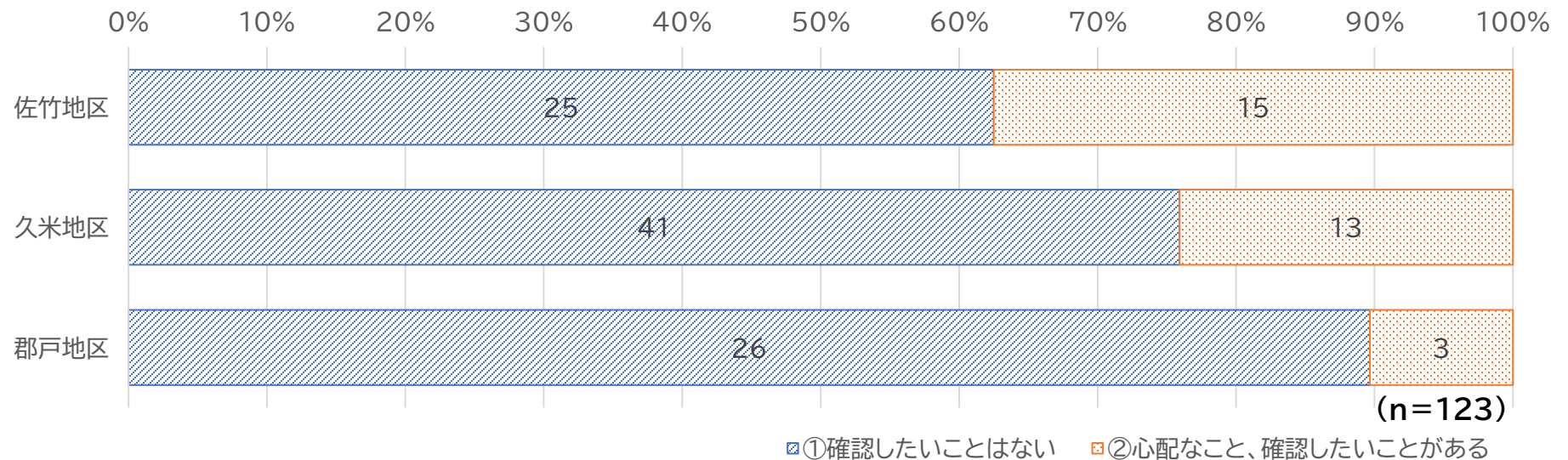
【自由記述】

- ・今回飴が配られたが、いつ舐めてよいのかがわからなかった。本番通りならそのタイミングの指示が必要。
- ・ヨウ素剤代わりの飴の配布はありましたが、受付時には後で使用を指示しますと言われていたがなかった。(ほか1件)
- ・紙を配られた(読んだが)バスの中で説明があってもよかったと思う。
- ・説明書を見れば理解できるが、老若男女が集合するため、簡単な説明が良いと思いますが、マイクの利用を考えてみては。
- ・ヨウ素剤の服用に関する説明不足である。
- ・紙面だけではわからない。(ほか1件)
- ・口頭での説明がなかった。
- ・そもそもヨウ素剤とはどんなものを広く住民に周知する必要があり、いきなりアレルギーの有無を聞かれても答えられず。
- ・注意を要する方に対し、より分かりやすくすること。持病やその他の症状等事前確認できるシステム等も検討すべきと思われる。
- ・実物の展示
- ・ヨウ素剤を飲むとき水以外でもよいのかの問いにわかりませんと回答を受けた。

アンケート集計結果

6 安定ヨウ素剤の説明・服用について

(2)安定ヨウ素剤の服用について心配なこと、確認したいことはありますか(訓練参加市民全員対象)

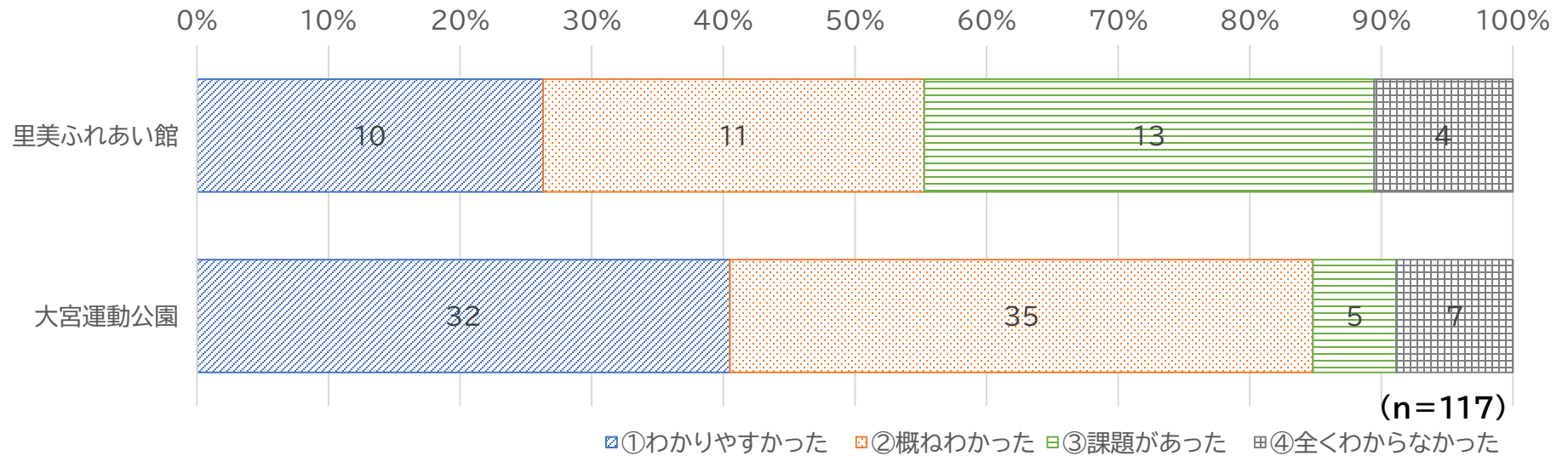


【自由記述】

- ・ 高血圧の薬を何種類も服用していれば、安定ヨウ素剤の服用はしない方が良いでしょう。
- ・ 常用している薬がある際の副作用や注意点が心配 (ほか4件)
- ・ いつ頃どういうタイミングで配布されるかがわからない。
- ・ 事前配布の予定があるのか。
- ・ 安定ヨウ素剤の服用時期 (ほか3件)
- ・ 後遺症等の説明が欲しい。
- ・ 服用する期間とか副作用など。
- ・ ヨウ素アレルギーは自分がどうなのかわからなかったので、確認しておこうと思った。(ほか1件)
- ・ 効果および副作用の件 (ほか1件)
- ・ 実物を見せてほしかった。
- ・ 健康状態によりヨウ素剤を使用できない人はどうすればよいか不明。

アンケート集計結果

7 避難退域時検査(里美ふれあい館もしくは大宮運動公園)での誘導はわかりやすかったですか。

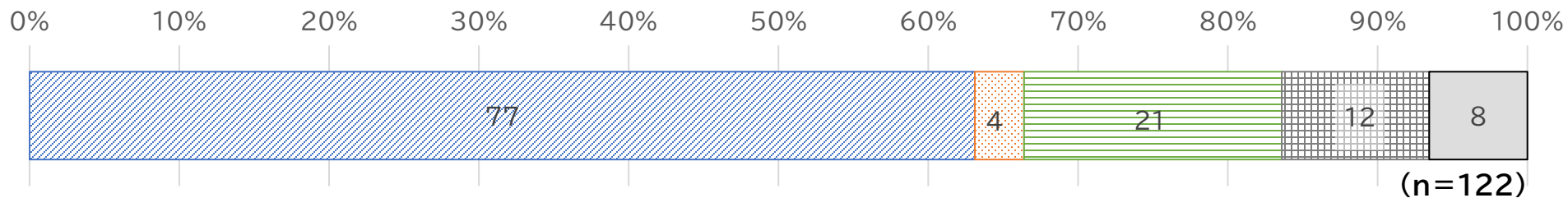


【自由記述】

- ・ (里美) 少ない車の台数なのでスムーズにできたが、実際の避難台数を考えると心配になった。
- ・ (里美) たくさんの方が出迎えてくださって、矢印があってその通りに行けば良かったのでスムーズであった。
- ・ (大宮) バスに乗っていただけなので、何の検査もなく何の説明もなかった (ほか12件)
- ・ (大宮) バスの通過時、丁寧に検査の手順が知りたかった。
- ・ (大宮) 自家用車で避難時についても検査の流れが知りたかった。
- ・ (大宮) 人数だけたくさんいたが、誘導手順等がスムーズではないと思われる。
- ・ (大宮) 大量に避難が待機した場合、もっとわかりやすくした方が良い。
- ・ (大宮) わかりやすい明示があるとよい。
- ・ (大宮) 車だけで良いのか、人の衣類などはどうなのか。
- ・ (大宮) 車窓からの説明 (県職員等) があり概ね理解した。
- ・ (大宮) 同乗していた職員による具体的な案内や説明が欲しい。

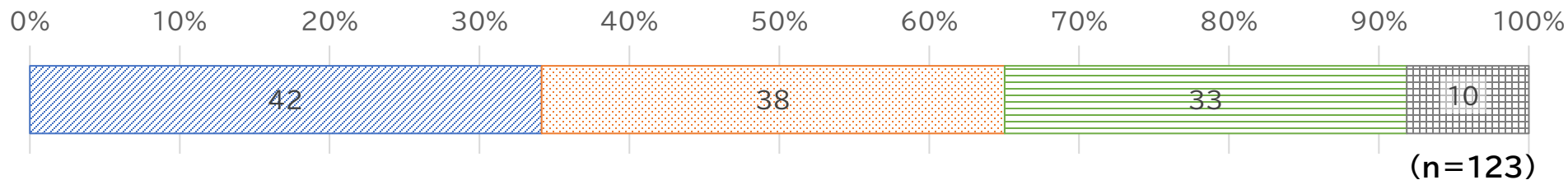
アンケート集計結果

8 避難指示が出た場合の行動について 実際に原子力災害が起きたとき、どのように避難しようと考えていますか



- ①家族の運転する自家用車で、指定された避難先に避難する
- ②親戚や近隣住民などが運転する自家用車で、指定された避難先に避難する
- ③自家用車で親戚宅など、指定された避難先以外に避難する
- ④一時集合所からバスで、指定された避難先に避難する

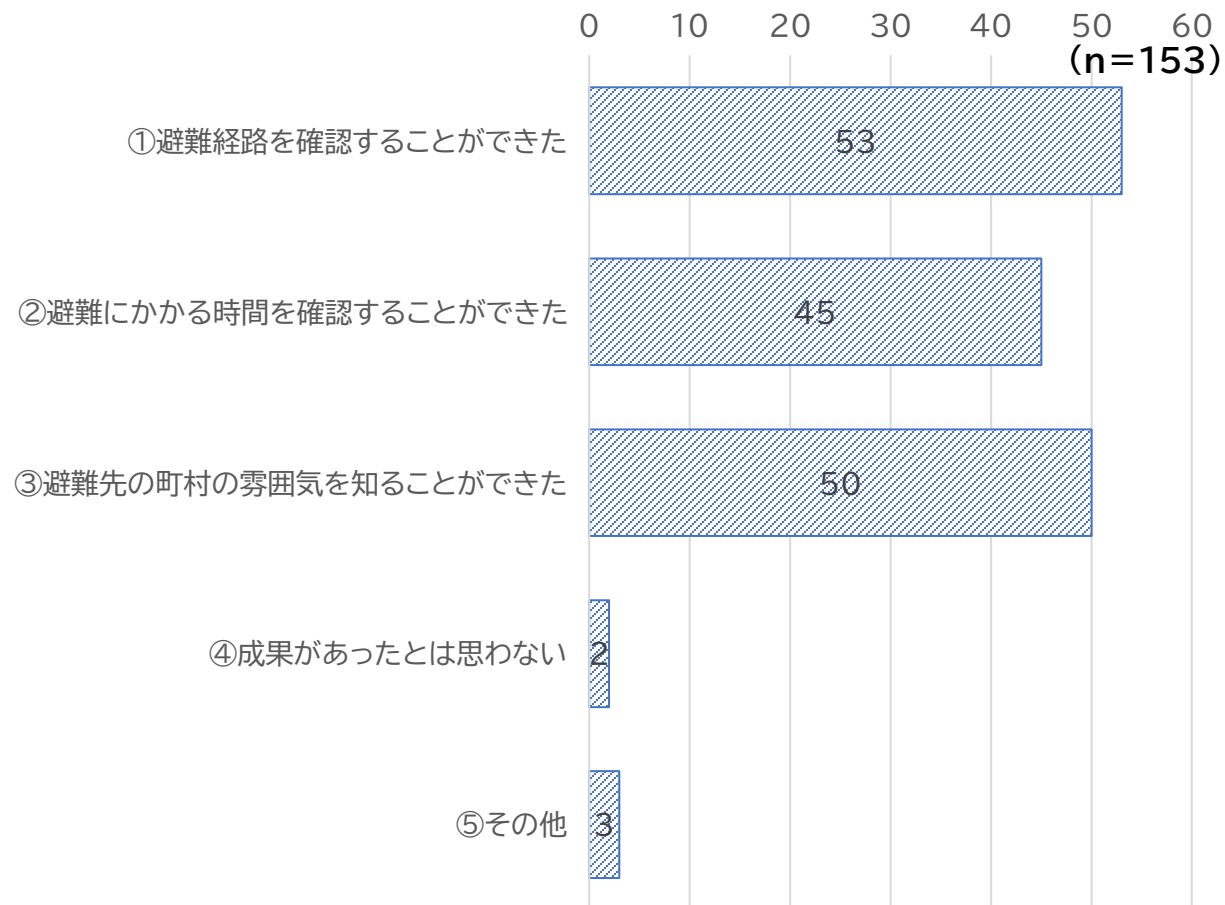
9 原子力災害を含め、災害に備えて何日分の食料・飲料等を備蓄していますか



- ①備蓄していない
- ②1～2日分
- ③3～4日分
- ④1週間分
- ⑤それ以上

アンケート集計結果

10 広域避難訓練(福島県鏡石町、石川町、玉川村)について (1)どのような成果があったとお考えですか？



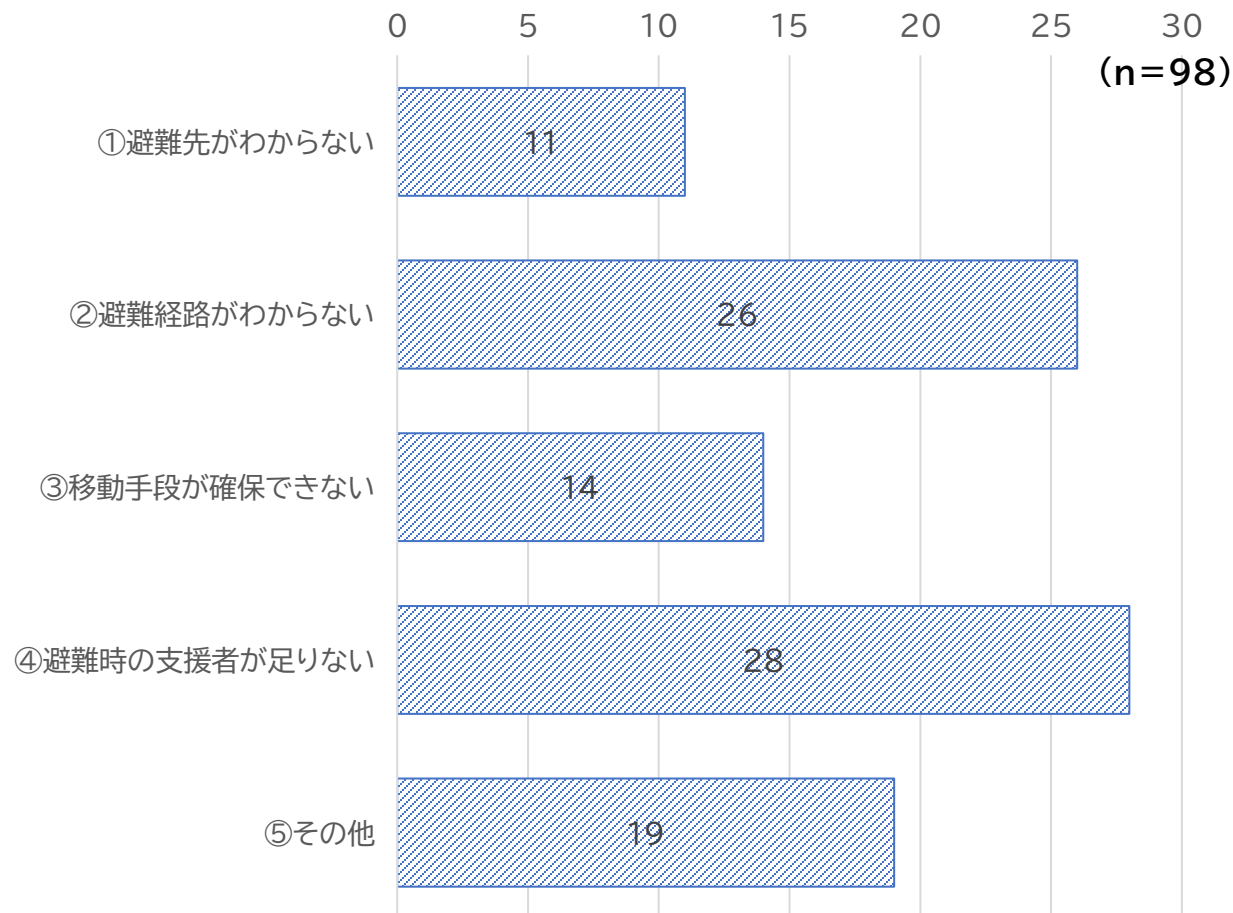
【自由記述】

- ・ (鏡石町) 避難先 (場所) が知れてよかった。
- ・ (鏡石町) 広域避難場所に不安を持っていましたが、今回訪問して受入先に安心しました。
- ・ (石川町) 受入先の人たちのやさしさを感じた。道具 (マット等) も使う人のことを考えた配慮があった。
- ・ (玉川村) 玉川村は想像していたよりも開けていた。ただ高いところにあり、寒く感じた。
- ・ (玉川村) 短期間ならいいと思う。

アンケート集計結果

10 広域避難訓練(福島県鏡石町、石川町、玉川村)について

(2)広域避難を体験して、原子力災害発生時の避難において何が課題と考えますか



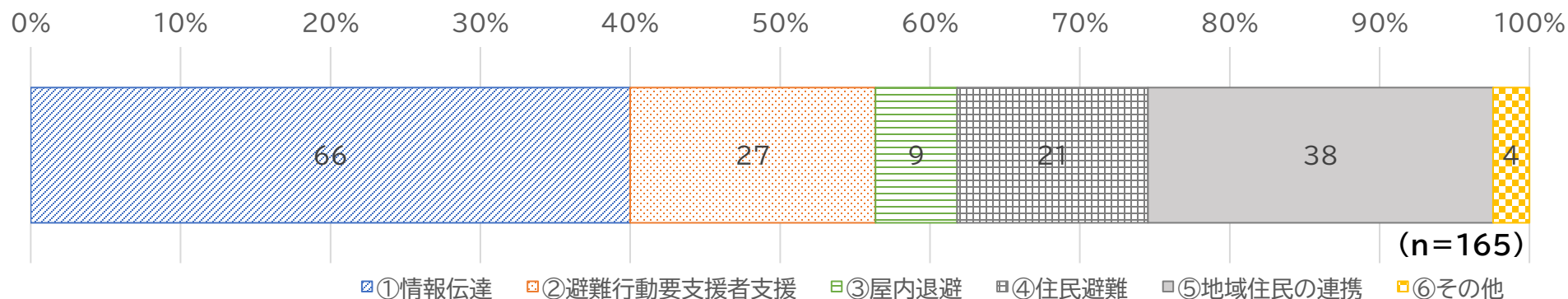
【自由記述】

- ・車で避難する場合の道路の混雑が心配（ほか7件）
- ・若い住民の方が理解しているか、また一人で避難するのが難しい高齢者への対応など、まだまだ課題があると感じた。
- ・今回はバスでの避難で、自分で運転していないので実際に自分で避難できるか不安である。
- ・自分では車で移動できない。避難先に本日のお世話になっていくようだとつくづく思った。
- ・風向きのお知らせください
- ・冬季の雪道対策
- ・事故発生時の放送でどうすべきかわかりやすく説明が欲しい
- ・避難対象地域の地区はここという明確な場所がわからない。
- ・避難退域時検査（自家用車で避難の時等）
- ・大人数の対応は可能か。
- ・貴重品（保険証やカード類）を持って出るなら自家用車で避難した方が便利かなと思った。

アンケート集計結果

11 全般

(1)本訓練を通じ、今後解決すべき課題として一番重要と考えるものを挙げてください。



【自由記述】

- ・避難までの情報はよくわかったが、避難してきてからの情報伝達などはどうにするのか、いつまで避難しているのか等を知りたい。
- ・正しい情報の提供といつ避難したらよいかの指示を的確にしてほしい。
- ・避難行動は全て行政からの正しい情報に基づくものと解すことで住民は行動するので、わかりやすい表現で伝達してほしい。
- ・移動手段の確保
- ・住民への安心・安全の対応が重要であると考えられ、一時集合所での対応が最も重要と考えられる。
- ・住民に各場所の行き先指示。1～2カ所連絡する。
- ・自力で一時集合場所に行けない要支援者を誰がどのように支援するか明確になっていない。
- ・高齢者支援について

アンケート集計結果

11 全般

(2) 今後再び本訓練に参加する機会があった場合、どのような訓練内容があればいいと考えますか。

【自由記述】

ア 避難行動要支援者を対象とした訓練

- ・避難行動要支援者も一部交えての訓練があってはどうかと思う。（ほか11件）
- ・病人の避難のさせ方。
- ・小さな子供たちも行うべき。
- ・自家用車がない方を一時集合場所までどう連れて行けばよいかを真剣に考えて計画する。各町会でそのような人がいるかを把握しておく。

イ 参加者・訓練規模の拡充

- ・なるべく多く住民に参加していただき、実際に最終避難所（福島県）まで行ってみる（ほか2件）
- ・自家用車での避難（ほか1件）

ウ 同程度の訓練で良い

- ・時間を効率よく利用すれば本日の訓練でいいと思う。
- ・同程度で良いと考えます。

エ その他

- ・実際に避難が必要となった場合のシミュレーション（必要な持ち物、想定時間、連絡先、地域別避難所、医療機関の告知など）
- ・タイムリーかつ多くの情報伝達（ほか2件）
- ・ペット同行の避難訓練（ほか3件）
- ・避難後の受入訓練
- ・屋内退避について、もっと知識を得たいと思いました。
- ・夜間想定
- ・待機時間をスムーズに誘導できる対策の訓練
- ・参加しない
- ・興味なし。やらないほうがいい。

アンケート集計結果

11 全般

(3) その他、本訓練に参加されての感想や要望等をお書きください。(1/3)

【自由記述】

ア 訓練の成果があった

- ・本訓練に参加し、万が一の場合に役立つものと考えます。合わせて現実を直視した場合の差異を自分なりに再考したい。
- ・全体の訓練の流れが習得できた。
- ・テレビ、ニュース等を見て理解していたつもりだったが、実際に訓練に参加し、知らない事（除染など）を知ることができた。
- ・避難の手順がわかった。
- ・避難の一連の流れ等がインプットできたことは非常に良かった。
- ・避難経路や場所を実際に確認できたことが有効であった。
- ・避難先までの所要時間がわかってよかった。
- ・今回訓練に参加させていただいて、少しわかった部分があったので良かったと思う。本日はいろいろとお世話になりました。
- ・大掛かりな訓練は大変だったと思います。お世話になりました。知識を少しでも体で感じられました。
- ・本日は色々お世話になりました。
- ・良かったと思う。
- ・いろいろと貴重な体験をすることができました。
- ・本訓練は大変役に立つと思った。
- ・大変良かったと思う。
- ・有意義であった。
- ・本訓練に参加し、原子力災害が身近に感じられ、改めて備えを十分にとりました。
- ・原子力防災訓練に参加して重要な経験ができたので良かったです。地域の人たちに積極的に話したいと思います。
- ・有意義な体験と感じた。
- ・大変参考になりました。
- ・大変勉強になりました。
- ・参加してよかった。

- ・今回参加してみて、本日は事前に知らされている避難場所へバスの誘導でしたが、実際にこのようにできるかは不安になりました。家族や友人にも話したいと思います。有意義な時間を過ごすことができました。

- ・訓練をすることにより、重要性等が身に着くと思われるので、多くの人が参加できるよう毎年実施してほしい。
- ・多くの人が参加し、自覚してくれたら。
- ・貴重な訓練に参加できたので、いざという時の避難の際に役立てたいと思いました。

イ 情報伝達・広報について

- ・原子力、自然災害の時、情報伝達や共有は大切で、市が今年度徹底している防災行政無線について非常に良かったと思う。今まで聞き取れなかった情報が聞き取れるようになった。

- ・広報の充実

ウ 一時集合場所での受付の改善

- ・受付に時間がかかる。一人一人説明をしていたが10名単位で効率よく実施する。出発に30分の遅れ。
- ・避難してきた人たちのチェックをもっとスピーディーにしてほしい。
- ・受付、ヨウ素剤配布については、氏名等記入が2度手間にならないようにしてほしい。氏名確認、人数は時間がかかりすぎたように感じるその間訓練参加者に説明がされなかった。
- ・全体的に良かったが、受付の時間の長さが問題。カードなどでチェックができればと思う。
- ・受付時の工夫
- ・受付に列ができていた。
- ・受付時、説明の時に1人ずつ説明していただきましたが、たくさんの方がいるときには難しいと思うので、もう少し考えた方がいいと思います。

アンケート集計結果

11 全般

(3) その他、本訓練に参加されての感想や要望等をお書きください。(2/3)

【自由記述】

エ 避難経路について

- ・道路が通行できなくなった時（崩落、雪など）の移動をどうするか検討してほしい。
- ・ナビがあれば移動は容易であるが、約2時間の行程を迷わずに移動できるか（特に年配の方）が懸念点。移動中の2次災害など。
- ・バス等での避難ではなく、自家用車を使用する訓練が必要と思う。実際、事案が発生した場合、住民は困惑してしまうと思いますので、このシミュレーションを行った方が良いと思う。
- ・自家用車避難の案内が皆無であった。
- ・車の移動ポイントの明示
- ・里美で車が渋滞するのでは。
- ・災害が冬に起きた時、雪の心配がある。

オ 避難経路におけるトイレの確保について

- ・トイレ設置箇所、飲料水等簡易食料の購入場所を知りたい。
- ・道路が込んだ時のトイレ問題がある。
- ・トイレ等の整備

カ 避難所での対応について

- ・本番を想定した細やかな誘導。
- ・避難場所の規模は実際はより広く、誘導方法も検討が必要と思う。
- ・体育館での説明時、拡声器等を使用した方が高齢者に説明が理解できるのではないか。
- ・避難所に入ってから実際の行動の体験
- ・避難が長期化した際の対応は何か？

キ 平素からの取り組みについて

- ・避難の時持ち物などの事前準備
- ・原子力災害が人的なもの。行政側で徹底したマニュアル作りが必要である。
- ・防護服を住民に配布してもらいたい。
- ・年1回か5年に1回、地区ごとの避難場所マップを配付する。
- ・避難所が遠いため、なるべく近い場所を要望します。
- ・一部の人間だけが訓練をしても意味がない。予算の無駄。市民全体が避難した場合、どのような事態になるのか説明がない。
- ・町会として何を行うべきか、今後検討する必要があると感じた。
- ・該当する市町村においては訓練を実施すべき。実施することでの課題が出てくるのではないかと。

ク 訓練内容について

- ・市職員以外の方が同乗していたが、訓練開始にあたってご案内すべきでは。
- ・JAEAの方主体のようだった。実際の災害で彼らはいない。
- ・受け入れ先の学校の行事予定も考慮して計画してほしいです。
- ・せっかく参加したので、いろいろな事についてご教示願いたかったです。バスに乗っていただけになってしまいました。
- ・説明がわかりづらかった。
- ・車に乗っているだけの訓練が必要なのかと思った。
- ・訓練スピード、時間を計る等の訓練も必要と考える。
- ・汚染者の札をつけていったのに何も指示がなかった。
- ・事前の説明と違うことばかりでふざけるなどと思った。
- ・市の説明会と訓練では食い違いがある。

アンケート集計結果

11 全般

(3) その他、本訓練に参加されての感想や要望等をお書きください。(3/3)

【自由記述】

ケ その他

- ・そもそも自家用車で避難するものがバスに乗って福島に行く意味があるのか疑問でした。誰のための何のための訓練なのかバスの中でずっと考えていました。
- ・このような災害が起こらないことを願っています。
- ・気象条件や地震等により避難経路が変わる場合の漏れのない情報伝達の確立等考えると、原発事故避難は不可能だ。国に計画は出来ないというべきだ。原発に対しては原発再稼働はやめろと要求しよう。
- ・このような訓練をしなくてもよい社会にしたい。
- ・お疲れさまでした。
- ・市職員3名の方、大変ご苦労様でした。
- ・アンケートで終わりにしない。
- ・あくまで訓練なので実際に起きたら不安である。
- ・ボランティアとして自然災害とヒューマンエラー訓練は次元が違うと考える。
- ・自家用車で避難する場合、直接福島に行ってもいいのか？よくわからない。
- ・係の人の動きがグダグダ。
- ・人間は端に集まりやすい。それを回避してスペース有効活用のためパーティションを活用していたのが印象的だった。
- ・先日防災無線のアンテナ設置において、壁への固定が必要と言われたあり得ない。中継アンテナを市として設置するべき。
- ・若い人がいない。街の再生が第一なら老人より若い人が参加して生き残ることを考えるべき。